

運動部活動優秀選手・指導者等活用事業 実施要項

1 目 的

2025滋賀国スポでの総合優勝（天皇杯獲得）を目指し、優れた技術や経験を有する選手・指導者等を強化拠点校に派遣し、指定部活動の指導に携わることで、少年種別競技力のさらなる向上を図る。

2 対 象

競技力向上対策本部が指定する、2025滋賀国スポ強化拠点校のうち、活用を希望する学校

3 期 間

各年度5月1日～2月末日まで

ただし、滋賀県競技力向上対策本部が特に必要と認める場合はこの限りでない。

4 内 容

配置校の部活動の競技力をさらに引き上げ、全国で活躍する選手を育成するための指導者を派遣する。

5 派遣者の基準

- ・指導者は以下の①・②・③すべての要件を満たす者（①選手時代の成績を含む）
- ・選手は以下の①・③の要件を満たす者
 - ① 実績 （ア）全国規模の競技大会において8位以上の成績
※全国規模の競技会とは、国民体育大会及び（公財）日本スポーツ協会または（公財）オリンピック委員会の加盟団体が主催または後援する全日本選手権大会。
（イ）（ア）に準ずる成績（要協議）
 - ② 資格（いずれかに該当）
 - （ア）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格（競技別指導者資格）
 - （イ）中央競技団体が認める資格
 - （ウ）教員免許状
 - ③ その他 当該校の校長が推薦する者

6 派遣者の居住地域及び職種

- ① 原則居住地域が県内
- ② 副業が可能な職種

7 派遣回数および時間

月20回以内、1回の指導時間は2～3時間程度とし、週20時間未満とする。

8 派遣に係る経費

下記の経費を競技力向上対策本部が予算の範囲内で支給する。

〔報酬〕 単価 5,500円／1回

〔旅費〕 実費 （旅費支出対象は、原則として居住地から派遣校の往復とし、練習試合等の校外活動での旅費は認めない。）

9 派遣場所

原則として、派遣校の運動施設とする。

ただし、派遣校に運動施設がない（工事等で使用できない）場合は例外とする。

付 則

この要項は、平成31年4月1日から施行する。

この要項は、令和2年4月1日から施行する。

この要項は、令和3年4月1日から施行する。